

備前市 事務事業 評価表

(平成17年度事業)

事業名	老人医療費給付事業		コード	02-01-08-02	担当課	保健課 保険医療係
事業実施期間	平成17年度～		担当者	則枝勇人		
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれる まちづくり	電話	64-1819 (内123)		
	中項目	やさしさあふれる まちづくり				
	小項目	老人保健(医療費給付)				
	施策	健康や医療の意識啓発				

事業について	
目的	老人の適切な医療をするために、医療費支給をし老人福祉の増進に資する
対象 (誰のために)	老人医療対象者
内容	適切な医療を効率的・安定的に提供する

事業の結果	
実施項目	17年度
	回数など (単位)
対象者(年間平均)	6,565 人
年間受診件数	144,042 件
一人当たり医療費	853,101 円
1件当たり医療費	38,882 円
審査支払手数料	15,944,759 円

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	5,164,094	国県補助金	4,829,977	直接事業費		国県補助金等	
	人件費	14,490	受益者負担		人件費		受益者負担	
		市債				市債		
合計	5,178,584	一般財源等	348,607	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	1.85 人		
結果指標①	結果指標名	一人当たり給付額	
	結果指標量	775,466 円	
	対前年比	0.00%	
	事業費	5,178,584,000 円	
単当たりコスト①	788,817 円	#DIV/0!	#DIV/0!
結果指標②	結果指標名	1件当たり給付額	
	結果指標量	35,343 円	
	対前年比	0.00%	
	事業費	5,178,584,000 円	
単当たりコスト②	35,952 円	#DIV/0!	#DIV/0!

事業の成果			
成果指標名	一人当たり年間平均受診回数	式又は説明	年間受診件数/対象者数(年間平均)
	17年度		
成果指標量	22		
対前年比	—	0.00%	#DIV/0!
到達目標値	20	到達目標年度	平成19年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価		評価区分
コメント	制度改正の情報がまだ老人医療該当者に浸透していないので、広報等で周知していくことが必要。	<A~E>
		C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	775,466円	結果指標量②	35,343円
目標値	結果指標量	結果指標量	20

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	広報やパンフ等により法改正の周知徹底をし、資格管理を正確にする。	毎年	該当者が制度内容を理解することで該当者漏れのない適切で質の高い医療を受けることができる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。